

理事会は、私たちの切実な要求に  
応える再回答を示して下さい！！

23春闘要求について理事会へ再検討を要求してます。

現在の回答に対する「組合員の声」→切実な声が寄せられています！！

※「組合員の声」は別紙用紙に記載して組合に提出願います。  
また、メールinfo@nakarou.or.jpでもOKです。

看護師の補充、そのためには給料や手当が改善されないとこちらから勧誘もできないので、結局は辞めていくだけで人が入ってこない。仕事量・ストレスも多いのに給料が少ないためこのままだと働く人がなくなります。そろそろ本気で嫌気がさして辞めたいと考えています。

コロナなどもあり、病院の収益は減収であったりもすると思います。しかし、職員(正職員・嘱託・パート)はできることを精一杯やっています。生活は物価値上げもあり変わっています。是非賃上げ、ボーナス改善、職員の増員をお願いします。



<23春闘3.9抗議集会>



わりに合わない賃金。離職率の高さや退職者の多い理由のひとつですね。看護師の時給が低すぎる。今まで働いた中で一番低い。今のままでは人は集まりません。早期に賃上げを！！

退職があり、常に人数が少ない状態。安定した医療を提供するためにも人員を増やしてほしい。給料は上がらないのに物価ばかり上がって、どうやってその費用を捻出すればいいのか教えてほしい。

要求実現のため指名ストライキ配置しました！！

- ・日程 4月26日(水) 13:00~14:00
- ・場所 秋田:中通総合病院玄関前、大曲:病院玄関前
- ・規模 指名ストライキ(執行委員、分会役員など)

※ストライキ参加登録は、4月21日(金) 昼までお願いします

**医労連** 23春闘ニュース⑦  
医団連中央行動  
2023年4月14日 No.117

日本医労連  
TEL 03-3875-5871  
FAX 03-3875-6270  
n-ask@rouren.or.jp  
東京都台東区入谷1-9-5

## 診療報酬・介護報酬の臨時改定を



開会あいさつをする、住江憲男 保険医団体連合会会長

日本医労連は4月13日、医療団体連絡会(医団連:日本医労連・保団連・全日本民医連・医療福祉生協連・新医協で構成)主催で、「診療報酬・介護報酬の臨時改定を求める医団連中央行動」を参議院会館で行いました。全国23県から109人が参加しました。

意思統一集会で開会あいさつをした住江憲男保団連会長は、「施設経営では、電気料金2割増、物価・食材も高騰で厳しい状況。賃上げ・労働者確保も課題となっている。現状の報酬水準では医療・介護体制は維持できないところに来ている。早急な引き上げが必要」と述べました。

各団体からの報告では、主催5団体から、取り組みや課題が報告されました。日本医労連からは松田加寿美中央執行委員が、現在まとめている「看護職員の労働実態調査」の特徴について報告しました。集会最後に、増田剛全日本民医連会長が「いのちこそ財源を使うべき。医療・介護がないがしろにされている状況を許さず、強く結束し前進していこう」と挨拶しました。



基調報告と行動提起をする森田進書記長



閉会挨拶をする、増田剛 全日本民医連会長

### 【要請事項】

- 1、医療や介護現場で働くすべてのケア労働者の賃上げと人員配置増につなげるよう、診療報酬と介護報酬を抜本的に引き上げる臨時改定を実施すること。
- 2、すべての医療機関や介護施設に行き渡る物価高騰支援策を拡充すること

医療団体連絡会(日本医労連・保団連・全日本民医連等)は、4月13日参議員会館で「診療報酬・介護報酬の臨時改定を求める中央行動」を行いました。